

抱負な知識と優れた技術で

J E R C O N K R I
ート補改修協会

協会認知化活動に注力

J E R C O N K R I 補
改修協会（会長 佐藤匡
良・日本ジツコウ社長）
は3日、都内で第18回総
会・研修会を開催した。
2021年度事業報告・



佐藤会長

決算報告を行い、今年度
の事業計画・予算案を承
認した。研修会では日本
下水道事業団（J S）の
橋本敏一・西日本設計セ
ンター長が、J Sにおけ
る下水道コンクリート構
造物の腐食・劣化に関す
る最近の調査研究成果に
ついて講演した。
今年度の事業計画では
特に、協会の認知化活動

として展示会への出展、
協会カタログの改定、
ホームページのリニューアル
に取り組み。展示会
は下水道展22東京をはじめ
め、▽ミリタリーエンジ
ニアリングフェア（9
月7日、都内）▽水道展
（10月19～21日、名古屋
市内）▽建設技術展20
22大阪（10月初旬、大阪
市内）▽建設技術フォー
ラム（11月初旬、広島市
内）▽インフラ検査・維
持管理展（12月7～9
日、大阪市内）▽震災対

策技術展 in 仙台（来年3
月初旬、仙台市内）に
出展予定。また、過去に
出展実績がない中四国の
中国地区での開催や、そ
の他インフラ関連・食品
業界・農業業界等の展示
会への出展を検討中。
佐藤会長はインフラメ
ンテナンス、防食市場が
活性化していくとし、「豊
富な知識と優れた技術を
持つ協会、価格以上の総
合的な価値を提供する協
会として認知して頂くた
めに宣伝活動・提案活動

に引き続き注力してい
く」と力を込めた。

会員数はコンクリート
構造物の長寿命化対策工
事を営む1種正会員14
5、材料製造業の2種正
会員5、複数入会会員の
事業所13、賛助会員5、
研究機関等の特別会員1
の169会員。